

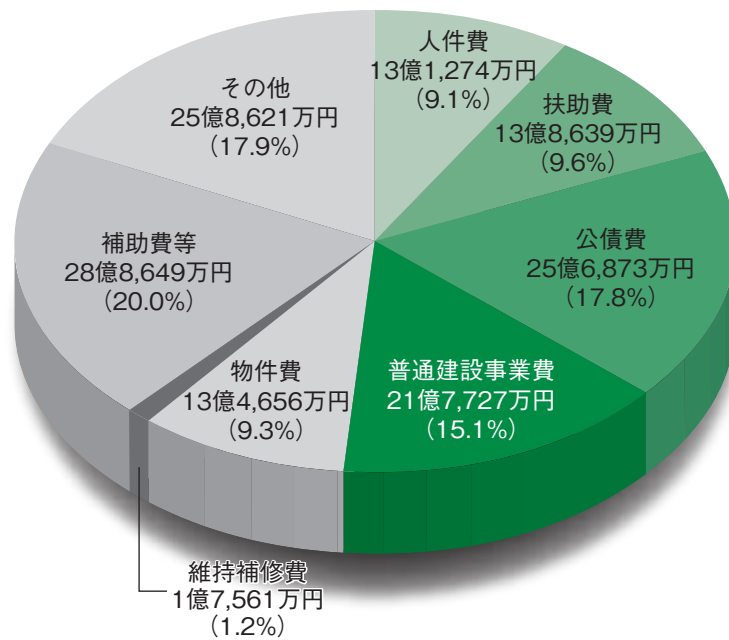
平成29年度の主な事業

・神話とたたら製鉄の郷 奥出雲の仕事づくり事業	2,825万円
・まち・ひと・しごとセンター関連事業	2,569万円
・高齢者福祉センター解体事業	3,560万円
・可燃物処理センター施設改修事業	6,797万円
・最終処分場水処理施設改修事業	4,309万円
・農村環境改善センター改修事業	5,383万円
・中山間地域等直接支払交付金事業	3億5,972万円
・多面的機能支払交付金事業	2億1,692万円
・農業基盤整備促進事業	5,020万円
・きのこの里づくり事業	1,952万円
・山林地籍調査事業	7,368万円
・古民家改修整備事業	5,000万円
・道路ストック改修事業	6,000万円
・町道等道路整備事業	6億9,058万円
・橋りょう長寿命化修繕事業	6,765万円
・三成公園ホッケー場整備事業	3億7,560万円
・中河原ハイツ外壁改修事業	1,850万円
・消防ポンプ車整備事業	2,356万円
・横田小学校屋内運動場改修事業	3,743万円
・三成小学校改築事業	2,650万円
○平成28年度からの主な繰越事業	
・仁多庁舎整備事業	5,094万円
・三成貸工場整備事業	6,890万円
・町道等道路整備事業	2億4,102万円

会計別の当初予算

会計名	当初予算額
一般会計	144億4,000万円
国民健康保険事業	18億9,800万円
後期高齢者医療保険事業	3億8,945万円
介護老人保健施設事業	3億5,734万円
介護サービス事業	4億7,772万円
訪問看護ステーション事業	2,829万円
公共下水道事業	2億9,190万円
農業集落排水事業	5億3,910万円
合併処理浄化槽事業	1億6,940万円
仁多発電事業	5億4,450万円
三井野原スキーリフト事業	1,761万円
国営農地開発事業	2,831万円
農業用小水力発電事業	710万円
奥出雲病院事業	24億7,865万円
水道事業	12億1,830万円
特別会計等 計	84億4,567万円
合計	228億8,567万円

性質別に歳出をみると…



用語の説明

- 人件費** 職員・特別職の給与、議員・各委員会委員の報酬などに使うお金
- 扶助費** 生活保護、児童手当、医療費などに使うお金
- 公債費** 道路、公共施設整備などのために借り入れた町債の返済に使うお金
- 普通建設事業費** 道路、橋、学校、公園などの建設、整備に使うお金
- 物件費** 業務委託料、使用料、物品調達などに使うお金
- 維持補修費** 公共施設などの修繕に使うお金
- 補助費等** 各種事業、団体への補助金や負担金として使うお金
- その他** 投資及び出資金、貸付金、積立金などに使うお金



平成29年度当初予算

町民1人あたり

175万1,543円

※人口 13,066人(4月1日現在)

一般会計 144億4,000万円

前年度当初予算(148億8千万円)と比較して3.0%、4億4千万円の減

歳入

- 町税** 町民税、固定資産税など
- 繰入金** 基金(貯金)や特別会計から入ってくるお金
- 使用料及び手数料** 情報や公民館の使用料、証明書の交付手数料など **3億3,878万円(2.3%)**
- 分担金及び負担金** 事業の実質負担などのお金 **1億817万円(0.8%)**
- 寄附金** ふるさと応援寄附金など **1億6,514万円(1.1%)**
- 譲収入ほか** どの費目にも含まれない収入
- 地方交付税** 税収の少ない町に一定のサービスが提供できるよう、国から交付されるお金
- 町債** 施設整備や道路改良などのために国や金融機関から借り入れるお金
- 県支出金** 県が認めた特定の事務事業に対して交付されるお金
- 国庫支出金** 国が認めた特定の事務事業に対して交付されるお金
- 地方消費税交付金** 国が徴収した税金から基準に従い交付されるお金 **2億1,690万円(1.5%)**
- 地方譲与税** 国が徴収した税金から基準に従い譲与されるお金 **1億1,980万円(0.8%)**
- 利子割交付金ほか** 県が徴収した利子に掛かる税金から交付されるお金など **2,580万円(0.1%)**

歳出

- 議会費** 町議会の活動・運営のためのお金 **8,710万円(0.6%)**
- 総務費** 一般的な管理事務、徴税、戸籍、統計、選挙などのお金
- 民生費** 生活保護、児童手当などの福祉のためのお金
- 衛生費** ごみ処理の経費や健康増進のためのお金
- 労働費** 失業対策や勤労者の福利厚生のためのお金 **1,804万円(0.1%)**
- 農林水産業費** 農業・畜産業・林業の振興のためのお金
- 商工費** 商工業や観光の振興のためのお金 **2億1,345万円(1.5%)**
- 土木費** 道路や公園、住宅の整備・維持管理のためのお金
- 消防費** 消防活動のためのお金 **4億2,599万円(2.9%)**
- 教育費** 小・中学校教育、公民館などのためのお金 **6億7,552万円(4.7%)**
- 公債費** 借入金の返済のためのお金
- 予備費** 予定外の支出、予算を超過した支出へ対応するためのお金 **800万円(0.1%)**

歳入

- 町税** 11億7,305万円 (8.1%)
- 繰入金** 7億2,906万円 (5.1%)
- 使用料及び手数料** 3億3,878万円 (2.3%)
- 分担金及び負担金** 1億817万円 (0.8%)
- 寄附金** 1億6,514万円 (1.1%)
- 譲収入ほか** 10億3,538万円 (7.2%)
- 地方交付税** 65億6,400万円 (45.5%)
- 町債** 19億4,279万円 (13.5%)
- 県支出金** 19億5,246万円 (13.5%)
- 国庫支出金** 24億7,279万円 (17.1%)
- 地方消費税交付金** 2億1,690万円 (1.5%)
- 地方譲与税** 11億84万円 (7.6%)
- 利子割交付金ほか** 12億3,698万円 (8.6%)

自主財源

依存財源

歳入

▼町が主体的に収入している自主財源は35億4,958万円(全体の24.6%)、このうち町税が11億7,305万円、このうち町税が近年の低調な企業業績による法人税の減などにより前年度比1.1%減となっています。また、普通建設事業等に伴う新規町債発行を抑制したことで、国、県支出金などを含めた依存財源は108億9,042万円(全体の75.4%)で、前年度と比べ1.3%減少しました。有利な補助事業や起債を導入し財政運営を行います。

歳出

当初予算の特徴

▼町で借り入れた町債の返済や人件費などの義務的経費は52億6,786万円(全体の36.5%)となっています。建設事業等の予算は21億7,279万円(全体の15.1%)を計上し、繰越事業6億1,255万円と併せ、町の基盤整備に努めます。また、補助費や物件費などの消費的経費は、水道事業の公営企業法適用に伴い、これまでその他経費として支出していた繰出金相当額を補助費として支出するため、前年比1.1%増の44億8,666万円(全体の30.5%)を計上しています。